

## 公開ディスカッションの実施について

平成 30 年 2 月 26 日

1 . 開催時期 : 平成 30 年 3 月 27 日 ( 火 ) 午後

2 . 開催場所 : TKP 赤坂駅カンファレンスセンター

3 . テーマ : 「オンライン医療の推進に向けて  
～ Society5.0 のもとで拓ける医療の可能性～」

- ・ IoT や AI を始めとする技術革新が進み、医療に様々なデジタルデータを活用できる環境が生まれてきた。本格的な遠隔医療など Society5.0 時代の医療の実現により、高齢者の急増や医師不足という問題の克服や、遠隔地への上質な医療サービスの提供が可能になり、患者や利用者の利便性を格段に高めることが期待される。また、センサーを駆使した常時モニタリングや、ビッグデータの活用により、従来は実現できなかった診療の質の向上や、新たな医療サービスの登場も期待できよう。

このような医療サービスの変化を国民が十分に享受するためには、診療から服薬指導に至るまで、在宅医療に関する規制のあり方を全体的に見直す必要がある。すなわち、遠隔診療、電子処方せん、処方せん医薬品の授受などについて、治療及び予防の精度・効率の向上、安全性、医療従事者の負担軽減、患者の利便性・満足度の向上、医療費の抑制、などの観点から検証する必要がある。

- ・ そこで、公開ディスカッションでは、診察から処方せん医薬品の授受までを「一気通貫」で完結できる在宅医療の実現に向けた課題や懸念点について、幅広く関係者から聴取し、今後の対応策について議論する。

以上